

KHKからの お知らせ

eラーニング研修への顔認証システム導入について



事故防止調査研修センター

1. 導入経緯

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて近年、場所や時間の制約がなく受講可能なオンライン研修に対するニーズが高まっており、当協会で開催している研修等についても受講者等の方々からeラーニング化を要望する声が聞かれるようになりました。

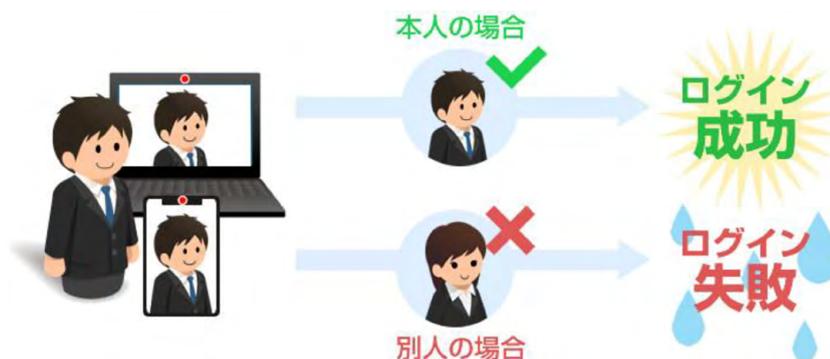
そのようなことから当協会では、令和3年度から一部の研修等へのインターネットを利用したeラーニング学習システムの導入を進めてきました。

一方、現在当協会で開催しているeラーニング学習システムにおける受講者確認は、ログインID、パスワードでの対応となり、なりすまし不正受講等を防止する対策が不十分な状況となっております。しかし、当協会で開催している一部の研修等では、研修の修了者に顔写真付きの受講修了証を発行しているものもあり、これらの研修等には厳格な受講管理が求められます。

そこで、厳格な受講管理が求められるもののうち、eラーニング学習システムを採用している研修等（採用予定を含む）については、令和8年度より顔認証システムを導入することとしました。

2. 顔認証システムの機能

まず、予め登録しておいた顔写真と、ログイン時や講義の受講時等に撮影した顔写真を照合して顔認証します。PCのWebカメラやスマートフォンのカメラが利用できるため、簡単に顔認証を利用できます。下の図がそのイメージです。



また、動画講義受講時に受講者の居眠りや離席を検知し、動画が一時停止される機能があります。10秒以上受講態度が不良と判断される状態になると動画が一時停止され、10分間操作されなければ動画が強制終了されます。

さらに、動画が一時停止するだけでなく、受講態度に応じて通知される警告が変わります。どんな状態で止まっているか明確になることで、受講者にとってストレスなく動画講義を進めることができます。

受講不良と判定した場合の警告一覧

- ・目を閉じているため、講義動画を停止します。
- ・顔が検出されなかったため、講義動画を停止します。
- ・動きがなく、顔写真を置いている可能性があるため、講義動画を停止します。



3. 顔認証システム導入予定の研修等

現在、当協会でeラーニング学習システムを採用している研修等の中で次のものについては、令和8年度から顔認証システムを導入予定です。

受講生の皆さまは、受講の際にカメラ機能が内蔵されているパソコンか、カメラ機能がないパソコンをお持ちの方は外付けカメラを準備して受講していただく必要がありますのでご注意願います。

- ・屋外タンク貯蔵所の泡消火設備の一体的な点検に係る講習会(eラーニング併用講習)
- ・コーティング上からタンク底部の板厚を測定する測定者に対する講習会(再講習)

これからも受講生の方々に便利な研修等を開催してまいりますので、皆さまのご参加をお待ちしております。